

英国エドワード皇太子の来日ー赤坂離宮での御宿泊と日英外交ー

君塚直隆(関東学院大学教授)

①明治日本最初の「国賓」ーアルフレッド王子の訪日ー

- ・1869(明治2)年9月に Queen Victoria(在位1837~1901)の次男 Prince Alfred(Duke of Edinburgh)が来日:近代日本にとって最初の「国賓」
 - 明治天皇(在位1868~1912)によって接遇:西洋式歓待の必要性を痛感!
 - 王子は延遼館(現在の浜離宮公園内)に宿泊
 - 日本側の大歓待に王子も満足し、女王に報告:Victoria女王の心象も好転へ

②日本に初めて来た英国王ーエディとジョージの両王子ー

- ・1881(明治14)年10月に皇太子(のちの Edward VII)の二人の王子 Albert Victor と George(のちの George V:在位1910~1936)が世界周遊の遠洋航海で日本へ
 - 二人も「Uncle Affie」と同じく延遼館に宿泊へ
 - 赤坂仮御所での宮中晩餐会に招待へ(食器も英国製など揃える)
 - 40年後の1921(大正10)年5月に裕仁皇太子(のちの昭和天皇:在位1926~1989)を London で大歓待:かつての明治天皇による歓迎に感謝

③英国皇太子の初来日ーエドワード訪日とその後の日英関係ー

- ・1922(大正11)年4月に英国皇太子として初めて Edward(のちの Edward VIII:在位1936年1~12月)が来日へ:前年の裕仁による訪英への返礼訪問
- ・4月12~21日は東京、28~5月4日は京都・奈良、5月9日に鹿児島から帰路へ
 - 4週間にわたり日本側は朝野をあげて大歓待:赤坂離宮に初めて宿泊へ
 - 「気まぐれな David」はドタキャンの連続(「坊ちゃん」ぶりを発揮)
 - 皇室、首相、外相、華族、財界などが連日接待で予定が詰まっていたのも原因
 - 4月19日には東京ゴルフ倶楽部(駒沢)で日英皇太子がプレー
 - 駐日大使(Sir Charles Eliot)は日本側の歓待ぶりを George V に報告
- ・1923年8月に日英同盟は失効へ(以後は日英関係も徐々にギクシャクしたものに)
- ・1941~45年に日英は戦争に突入し、王室を媒介に戦後和解へ
- ・1975(昭和50)年5月に英国の君主としては初めて Elizabeth II(在位1952~2022)が来日へ:1971年の昭和天皇訪英への返礼も兼ねて(赤坂迎賓館に宿泊)
 - 1986(昭和61)年には Charles 皇太子が Diana 妃と来日:赤坂迎賓館に宿泊
 - 2015(平成27)年には William 王子も訪日したが、今後は Charles 国王や皇太子ご一家などが来日され、日英の王室関係もさらに深まっていくかと

[参考文献]

- 君塚直隆『ジョージ五世』(日経プレミアシリーズ、2011年)。
君塚直隆『エリザベス女王』(中公新書、2020年)。
武者小路公共『外交裏小路』(講談社、1952年)。